

以前の職業は宝飾品の販売員でした。そんな私が農業なんて周囲では皆が驚いていましたが、海外でのショートステイを通して現地のマーケットで直接目にしたカラフルな新鮮野菜に心奪われ、食べて美味しい、目で見て楽しめるオーガニックな野菜作りをコンセプトに一人で始めてしまいました。

好きで始めた農業ですが自然相手と思うように進まないことばかりですが、あこがれのお料理研究家から私の作った野菜は心躍るような美しさで料理の創作意欲を掻き立ててくれるくれるといわれた一言で野菜作りをしていて良かったと心から思いました。

今では50種類以上の野菜を作り日々太陽のもと、その野菜の成長を楽しみながら素敵な農LIFEを模索中です。

(2015年9月記)



秋冬野菜の育苗を
見守る筆者

内房ファーム 鈴木 里佳

就農:平成27年1月 畑の場所:富士宮市 内房、西山

栽培面積:畑51a 栽培作物数:90種類

主力作物:タケノコ、人参、ケールなど

連絡先:www.facebook.com/utsubusafarm



「有機農家になるには? 農家になるという選択肢!」

農家にはどうやってなるの?有機農業に興味はあるけど、どうしたらいいのかわからない。そんな気持ちを眠らせていませんか?まずは、どんな職業でもそうですが、自分の理想の生き方をしている人達を見つけて会いに行く。それが一番の近道だと思います。自分の理想がまだよくわからなければ、楽しそうだなと思ったところに行ってみるといいと思います。そこからは、あなたの好きや情熱次第でどんどんつながっていきます。それが原動力だからです。

有機農業ですが、ズバリ!ラクな仕事でも、儲かる仕事でもありません。でも有機農業は、最高に楽しい職業だと私は思います。おそらく有機農家の方にその仕事は好きですか?と聞けば、100人中100人が好きと答えてくれるはず!それぐらい皆やりがいをもてる職業だと私は思います。

有機農家のいいところは自分のライフスタイルにあった農業ができることです。例えば、家族、子供との時間を優先し、早朝仕事を済ませ、子供達の登校に合わせて一緒に朝食を食べる。また昼まで仕事をし、夏場は15時頃まで昼休憩。夕方、子供の下校に合わせて野菜販売のイベントに参加。ウインタースポーツが好きで夏稼ぎ、冬はスキー三昧なんて人も!!!

またやり方も様々で、どんな野菜を作るのか、どんな売り方をするのか、有機農家によって違います。ただどんな農家さんも共通なことは種を撒いたところから、お客さんの手に渡るところまで関わることが喜びだということです。

ここ富士宮では毎年、若い新規就農者が増えています。富士山の麓、富士宮は豊かな自然に溢れ、農業に適した町です。ぜひ、一歩踏み出して会いに来ませんか?

富士山麓有機農業推進協議会はそのようなあなたを、仲間を、お待ちしております!

(KOKO農園 清久美子)